

大阪府立芥川高等学校 令和6年度第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立芥川高等学校
(准)校長名	富山 一紀

開催日時	令和6年11月29日(金)
開催場所	府立芥川高等学校 校長室
出席者(委員)	吉田副委員長、平井委員、芝野委員、濱崎委員、伊藤委員
出席者(学校)	校長 富山、教頭 出口、事務長 川谷、首席 渡邊、首席 前田、進路指導主事 片山、書記 梅本、中尾
協議資料	令和6年度学校経営計画 進捗状況、芥川新聞(311~314号)、令和6年度学校教育自己診断設問等、進路指導資料、令和7年度使用教科書の選定について、選定教科書一覧、令和7年度使用教科書選定理由一覧表(1年、2年、3年)
備考	

議題等(次第順)

- 授業見学 感想
- 学校の様子について
- 令和6年度学校教育自己診断について
- 令和6年度 学校経営計画にもとづく取り組みの進捗状況
- 進路状況報告 進路指導の取り組みについて
- 令和7年度使用教科書採択報告
- その他(保護者からの意見書について)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 授業見学 感想
 - ・どの授業も生徒が一生懸命取り組んでいる。
 - ・先生もベアワークを取り入れるなど粘り強く生徒に取り組ませる工夫をしている。生徒もわからない場合は友達に聞く様子も見られた。
 - ・印象的なのは情報の授業で、難しい課題を出しているが、友達のところに行き、教えてもらいながら一生懸命問題を解決しようとしていた。
 - ・わからない気持ちを持ち続けながら粘り強く取り組もうとする生徒を育てているところが印象的だった。
- 学校の様子について
 - ・ホームステイは学校で交流する以上に大きい経験で、家に来てもらうことで、生徒だけでなく、保護者も食事のことや文化のこと、その違いに触れ、苦戦することはすばらしいことだ、という意見があった。
 - ・学校の様子がよくわかった、という意見があった。
- 学校経営計画の進捗状況について
 - ・観点別の学習評価について、新課程になって評点の変化の有無についての質問があった。
 - 一評定の5が出にくくなり、評定平均が低くなること、それは多くの公立高校と同じであること、昨年度教務で内規を検討し直し、運用していることを回答した。
 - ・年内入試が増えて評定平均が大事だが、私立と公立の高校で差が出ており、私立は評定5が出やすい現状についての意見があった。
 - ・若い先生をどうしていくか、芥川高校の取り組みについて質問があった。
 - あくた会という、和やかな会を開いて、困りごとや授業の悩みなどを話し合えるような会を設けている。1回で20から30人くらい来る。5年くらいやっている。芥川を良くしていこうというテーマで始まったが、先生が健康であるために、若い先生や新しい先生が職場に溶け込みやすいように今はお悩み相談会のような形になっている。先生方を孤立させないために工夫している、と回答した。
 - ・保育実習では生徒が実習に来てもらえることで、子どもたちはとても愛されて助かっている。保育業界はなり手がない。今年度も一人、二人。なり手がないのは学校も同様で大変。学校は人と人がぶつかり合う素晴らしい場である、という意見があった。
 - ・授業のことについて、和太鼓は地域の歴史の物語を吸い上げて曲にしているが、授業でも同様のことができていのはすばらしい、続けてほしい、という意見があった。
 - ・進路について、自分たちも役に立つんだと思わせる活動や関大生のインターンシップを受け入れるなど、人として成長できる学びを提供できる点が素晴らしい。なんでも タイバに流れる今の時代に、学校ならではの、教室ならではの学びがあるのはすばらしい、という意見があった。
 - ・欠席、遅刻が多いのは、なにか理由や特徴はあるのか、という質問があった。
 - 学校は間に合うように行くものだ、という意識が弱くなっている。芥川高校だけでなく、他校とも共通している。きっかけの一つはコロナ。学校とはどういうところか、という意識に変化がある。休むこと、間に合うように行くことのハードルが下がっている、と回答した。
 - ・グローバルコースを選択する生徒が減っているのはどうしてか、AIなどで翻訳できるからか、という質問があった。
 - 国際系の学部は人気だが、外国語学部は不人気だという意見があった。
 - ・コース選択のガイダンスはあるか、という質問があった。
- 進路状況について
 - ・指定校の人数と共通テスト受験者数の増減が他校と真逆。共通テスト受験者数が増えたのはすごい、どうしてか、という質問があった。
 - 二年生の後半から大学進学希望者を集めて過去の実績や傾向を何度か話をした。大きな取り組みはしてない、と回答。
 - ・PTAの協力による模擬試験の監督は他の府立ではなかなかできていない。働き方改革として教員による試験監督業務を外注するなどの方法もある、との意見があった。
- 教科書選定について
 - ・教頭より、資料にそって報告した。
- 学校教育自己診断について
 - ・首席より質問項目を報告した。
- 保護者からの意見書
 - ・教頭より、保護者からの意見書がなかったことを報告した。

次回の会議日程

日時	令和7年2月中旬予定
会場	府立芥川高等学校 1階 校長室